

平成27年度補正予算
中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

設備別 省エネルギー効果計算の手引き

高効率照明

平成28年7月 2.0版

■ 更新履歴

No.	版番	更新日	更新ページ	更新内容
1	1.0	2016/02/29		新規作成
2	1.1	2016/03/07	P.6～P.12	ポータル操作方法の説明を追加・更新 操作方法に合わせ、ポータル入力項目の説明順番を変更
3	1.2	2016/03/14	P.2	基準エネルギー消費効率の表 その他の注意事項を追記
			P.5～7	導入設備登録（「設備情報」「構成機器」）の説明、 構成機器情報の入力例を追加
4	1.3	2016/03/22	P.2	その他の注意事項に項目追加
			P.19～20	登録情報を更新した場合の再計算方法
5	1.4	2016/03/28	P.26	必要添付書類 No.1についてを更新
6	1.5	2016/04/04	P.10	型番の異なる構成機器が複数台ある場合の導入設備登録方法を追加
			P.26	必要添付書類 No.1についてを修正
7	1.6	2016/05/10	P.2	その他の注意事項に項目追加
			P.14	更新範囲の登録について注釈を追加
8	2.0	2016/07/29	P.2	3次公募における要件変更を追加（無電極ランプ）
			P.5～6	性能値 固有エネルギー消費効率(lm/W)が自動算出される仕様への変更 に伴い、画面・説明を更新 全光束の入力説明を追加
			P.10	番号対比表の作成例を更新
			P.15	既存設備情報の入力 確認が困難な場合について備考欄を更新
			P.18～19	登録情報を更新した場合の再計算方法を更新

本手引きをご確認いただく前に

本手引きは、設備区分ごとの省エネルギー効果計算方法の詳細について説明したものです。
本手引きをご覧ください前に、本事業における省エネルギー効果の考え方や、既存設備・導入予定設備の
計算条件、注意事項等について説明した「**省エネルギー効果計算について**」をまずご確認ください。

高効率照明の基準エネルギー消費効率（公募要領 別表 1 参照）

種別	性能区分	基準値
LED照明器具 （下記 ※1、※2 を除く）	昼光色・昼白色・白色	〈固有エネルギー消費効率〉 110lm/W以上 〈演色性〉 Ra80以上
	温白色・電球色	〈固有エネルギー消費効率〉 75lm/W以上 〈演色性〉 Ra80以上
LEDダウンライト （埋込穴300mm以下） ※1	昼光色・昼白色・白色	〈固有エネルギー消費効率〉 85lm/W以上 〈演色性〉 Ra70以上
	温白色・電球色	〈固有エネルギー消費効率〉 75lm/W以上 〈演色性〉 Ra70以上
LED高天井用器具 （定格光束12,000lm以上） ※2	昼光色・昼白色・白色	〈固有エネルギー消費効率〉 100lm/W以上 〈演色性〉 Ra70以上
	温白色・電球色	〈固有エネルギー消費効率〉 75lm/W以上 〈演色性〉 Ra70以上
対象範囲	灯具本体および一体で出荷される範囲 （本体および一体で出荷される範囲の例） 灯具、光源、電源、レンズ、ルーバー、カバー・枠、ガード、取付具、リニューアルプレート	
	備考 1. 〈固有エネルギー消費効率〉及び〈演色性〉両方の基準を満たすこと。 2. LEDモジュール寿命は40,000時間以上であること。 3. 性能区分に示す「光源色」は、JIS Z 9112（蛍光ランプ・LED の光源色及び演色性による区分）に規定する光源色の区分に準ずるものとする。 4. 昼光色、昼白色、白色、温白色及び電球色以外の光を発するものは、本項の「LED 照明器具」に含まれないものとする。 5. 消耗品（光源単体等）は対象外とする。 6. 無電極ランプについても、上記基準値を満たす場合は補助対象とする。 ※1 「ダウンライト」とは、JIS Z 8113:1998「照明用語」に規定されるダウンライトをいう。 ※2 「高天井器具」とは、JIS Z 8113:1998「照明用語」に規定される天井灯のうち、定格光束12,000lm以上のものをいう。	

■その他の注意事項

- 原則、不動産登記された建物に付帯している照明設備を補助対象とする。但し、広告・看板等のライトアップに用いる照明は対象外とする。
- 12,000 lm未満のLED高天井用器具は、「LED照明器具」の基準を満たすこと。
- 12,000 lm以上のLED投光器は、LED高天井器具として申請し、当該基準値を満たすこと。
- 光源色を複数もつLEDは、最大消費電力を示す光源色を選択すること。
- 12000lm以上の直管LEDは、天井面に取り付ける構造をもつ照明器具に限り、「LED高天井器具」の基準値を満たすこと。
- 電源一体型LED（安定器内蔵型ランプ）は光源単体とは見なさず、補助対象とする。ただし、償却資産登録（資産計上）される設備であること（会計判断は税務署等へ確認すること）。
- 上記「対象範囲」に記載されている設備以外の設備（付帯設備等）は対象外とする。（一体不可分として出荷される場合は除く。）

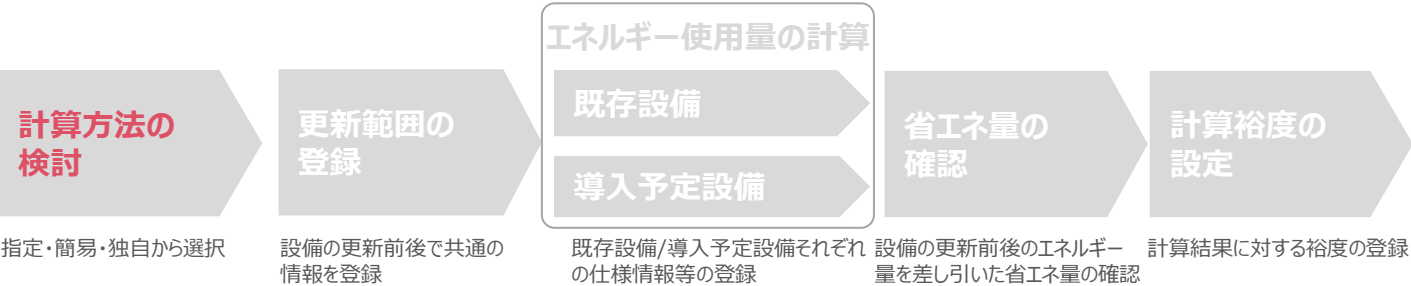
<3次公募における要件変更>

■ 補助対象設備の追加：無電極ランプ

- 無電極ランプについても、公募要領別表1の基準値を満たす場合は補助対象とする。
- LED照明と同様、灯具本体の更新を伴わない「光源単体」での導入は補助対象外とする。

高効率照明

本手引きでは「高効率照明」の省エネルギー効果計算について説明します。
当該設備と異なる設備については、該当の「設備別 省エネルギー効果計算の手引き」をご覧ください。



■ 高効率照明の指定計算に関する基本的な考え方について

- **既存設備のエネルギー使用量**
既存設備の定格消費電力(W)と想定稼働時間(h)を用いてエネルギー使用量を算出します。
- **導入予定設備のエネルギー使用量**
導入予定設備の定格消費電力(W)と想定稼働時間(h)を用いてエネルギー使用量を算出します。

■ 計算方法の選び方

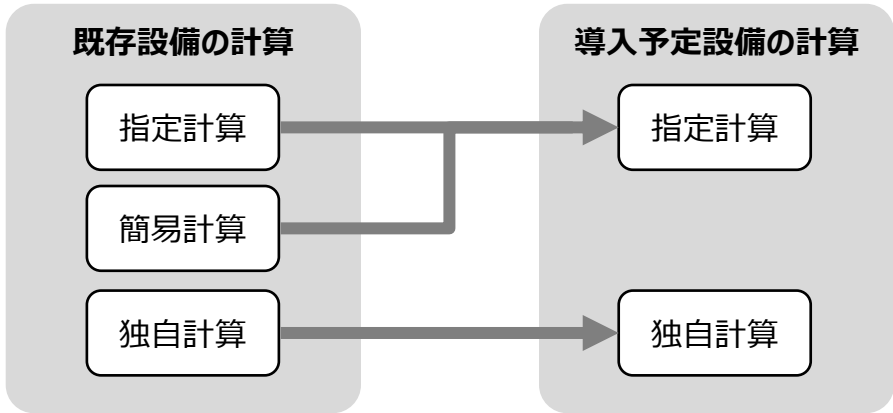
下表の選択基準の欄の内容を参考に、どの計算方法を用いるかを決定してください。

区分	計算方法	選択基準	省エネルギー効果計算入力項目
既存設備	指定計算	既存設備の定格消費電力がわからない場合 、 既存設備の種別から想定定格消費電力を決定	・ 設備種別(既存) ・ 種類・灯数等 ・ 稼働時間
	簡易計算	既存設備の定格消費電力がわかる 場合	・ 定格消費電力(既存) ・ 稼働時間
	独自計算	上記以外の計算方法で計算を行う場合	・ 月別電力消費量(既存)
導入予定設備	指定計算	既存設備で指定計算もしくは簡易計算を行った場合	・ 定格消費電力(導入予定) ※稼働時間は既存設備と同じ
	独自計算	既存設備で独自計算を行った場合	・ 月別電力消費量 (導入予定)

高効率照明

■ 既存・導入予定設備の計算方法について

高効率照明の省エネルギー効果計算において、既存設備の計算に「指定計算」、又は「簡易計算」を用いた場合は、導入予定設備の計算にも必ず「指定計算」を用いることとします。
既存設備の計算に「独自計算」を用いた場合は、導入予定設備の計算にも「独自計算」を用いることとします。



■ 計算時の注意事項

- ・ 稼働時間は、計算方法に関わらず「設備の更新前後で同じ」という前提で計算してください。
- ・ 独自計算を採用した場合でも、調光制御や人感センサー分を省エネルギー効果として計算することはできません。
- ・ 光色を調整できるタイプの定格消費電力は、最大値を用いて計算してください。

<参考> 導入設備登録 画面

■「設備情報」と「構成機器」の登録

省エネルギー効果計算に先立って登録が必要な、「導入設備登録 画面」の項目を示します。
なお、情報登録時に必要な書類の説明や具体的な登録手順については、「交付申請の手引き」-「第5章 導入予定設備と経費の登録」-「5-1 導入予定設備の基本情報の登録」をご覧ください。
※「第5章 導入予定設備と経費の登録」では高効率空調を例に説明していますが、基本的な登録手順は同じです。
※本参考ページは、「交付申請の手引き 第5章」のP. 4 6 ～ 4 7 に該当します。

<導入設備登録 画面>

画面情報

画面名 導入設備登録 画面

申請書情報

管理情報

申請書番号

KT-16030700221

補助事業名

照明・冷暖・冷蔵・デ・ス

事業所名称

区分・分類

区分・分類

1 設備区分*

高効率照明

2 種別*

LEDダウンライト

確定

設備情報

3 設備情報

3-1 製造メーカー*

□□株式会社

3-2 製品名*

LED○○Lightセット

3-3 型番*

NEW-323NK

3-4 台数*

3,000 台

4 基準要件

4-1 性能区分*

昼光色・昼白色・白色

4-2 基準値1

〈固有エネルギー消費効率〉 85lm/W以上

4-3 性能値1

〈固有エネルギー消費効率〉 85.0lm/W

4-4 基準値2

〈演色性〉 Ra70以上

4-5 性能値2*

〈演色性〉 Ra 70

4-6 備考

5 その他仕様

5-1 定格消費電力*

36.0 W

5-2 全光束*

3,060 lm

<参考> 導入設備登録 画面

■ 設備情報の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備の情報を登録します。

入力した導入予定設備の情報は、証憑書類（カタログ・仕様書等）の該当する箇所に蛍光マーカ等で印をつけ、転記した箇所が判るようにしてください。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
区分・分類	1	設備区分	プルダウン	「高効率照明」を選択する。
	2	種別	プルダウン	「公募要領 別表 1」を参考に、導入予定設備の種別を選択する。 ・選択間違いがないよう、P.2「その他の注意事項」を確認すること(2～5項目目)。 例) 12,000 lm未満のLED高天井用器具は、「LED照明器具」選択する 等。 ・不明な場合は製造メーカー等に確認し、正しい種別を選択する。
3 設備情報	3-1	製造メーカー	手入力	導入予定設備の製造メーカー名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	3-2	製品名	手入力	導入予定設備の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	3-3	型番	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の型番を入力する。 ※アルファベット、数値等の誤入力がないように確認すること。 ※英数字は半角で入力すること。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載がある場合（セット製品で導入する場合） → セット型番（灯具本体と光源等の組み合わせ型番）を入力する。 ※構成部品である子型番は、別途「対象機器内訳」で入力する。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載がない場合（灯具と光源それぞれの型番で導入する場合） → 灯具本体の型番を入力する。
	3-4	台数	手入力	当該設備の導入予定台数を入力する。 ※誤入力がないよう、「見積書」と台数の一致を確認する。
4 基準要件	4-1	性能区分	プルダウン	「公募要領 別表 1」を参考に、導入予定設備の性能区分を選択する。
	4-2	基準値1	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	4-3	性能値1	自動表示	5-1 定格消費電力、5-2 全光束を入力し「保存」をクリックすると、入力結果から性能値(lm/W)が自動計算される。 ※性能値1 固有エネルギー消費効率(lm/W) ＝全光束(lm)÷定格消費電力(W) ※性能値1が基準値1を上回っていない場合、エラーが表示される。
	4-4	基準値2	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	4-5	性能値2	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の演色性(Ra)を転記する。 ※半角で入力すること。 ※性能値2が基準値2を上回っていない場合、エラーが表示される。
	4-6	備考	手入力	必要に応じて入力する。（原則、入力不要）
5 その他仕様	5-1	定格消費電力	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の定格消費電力(W)を転記する。 ※半角で入力すること。
	5-2	全光束	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の全光束(lm)を転記する。 ※半角で入力すること。 ・無電極ランプのカタログ・仕様書等に、「有効光束密度(Plm)」が併記されている場合があるが「全光束(lm)」を入力すること。

<参考> 導入設備登録 画面

■ 構成機器情報の登録

下表の説明を参考に、構成機器の情報を登録します。

6

対象機器内訳		6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6
No.	対象機器	製造メーカー*	製品名*	型番*	台数*	本体 構成機器	
1	灯具	□□株式会社	直管蛍光灯用器具α	FLR400	3000	☒	
2	光源	□□株式会社	LED直管型ランプ	FLR40	6000	☒	
3	電源	□□株式会社	denegenA	DA-01	3000	☒	
4	レンズ	□□株式会社	拡散レンズR	KL001	3000	☒	
5	ルーバー	□□株式会社	LouverX	LV001	3000	☒	
6	カバー・枠	□□株式会社	ブラカバーα	PCα	3000	☒	
7	ガード	□□株式会社	スーパージャードFG	SGG	3000	☒	
8	取付具	□□株式会社	吊り具X	TRGX001	3000	☒	
9	リニューアルプレート	□□株式会社	Rプレート(大)	RPD001	3000	☒	

戻る

保存

項目	No.	項目名	入力方法	説明
6 構成機器	6-1	対象機器	自動表示	前ページで選択した「設備区分」「種別」に応じ、補助対象となる構成機器が表示される。 ※以下の項目（画面では「製造メーカー」より右）については、実際に導入予定である機器についてののみ、情報を入力していきます。
	6-2	製造メーカー	手入力	導入予定機器の製造メーカーを入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	6-3	製品名	手入力	導入予定機器の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。
	6-4	型番	手入力	導入予定機器の型番を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載が <u>ある</u> 場合（セット製品で導入する場合） → 構成される子型番（構成機器それぞれの型番）を入力する。 ※セット型番に含まれない付帯設備は、当該機器の型番を入力する。 ・カタログ・仕様書にセット型番の記載が <u>ない</u> 場合（機器それぞれの型番で導入する場合） → 導入するそれぞれの機器の型番を入力する。 ※P.6「設備情報」で入力した灯具本体の型番も再度入力すること。
	6-5	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力する。
	6-6	本体 構成機器	チェック	導入する機器が本体、及びセット型番に含まれる構成機器である場合に、チェックを入れる。 ＜設備別にそれぞれの型番で導入する場合＞ 灯具の□にチェックを入れる。 ＜セット型番で導入する場合＞ セット型番に含まれる型番の□にチェックを入れる。

<参考> 導入設備登録 画面

■カタログ・仕様書にセット型番の記載がある場合（セット製品で導入する場合）

<見積書から構成機器情報を転記する際の入力例>

御見積書

〇〇株式会社

<見積書明細>

品名・名称		型番	数量	単位	単価	金額
1. 設備費（補助対象内）						
NEW-ECOライト		NEW-EL110	50	セット	XXXX	XXXXX
灯具	直管蛍光灯用器具α	FLR400	50	台		
光源	LED直管蛍光灯ランプ	FLR40	50	台		
電源	電源TypeE	DA-01	50	台		
レンズ	拡散レンズR	KL001	50	台		
ルーバー	ルーバーPU	LV001	50	台		
カバー・枠	ブラカバー-30形	PCα	50	台		
【付帯設備】						
ガード	ガードG	SGG	50	台	XXXX	XXXXX
取付具	吊り具T40	TRGX001	50	台	XXXX	XXXXX
リニューアルプレート	Rプレート(大)	PRD001	50	台	XXXX	XXXXX
小計						XXXXXXXX

※1

※2

※3

<ポータル入力画面>

設備情報

設備情報

製造メーカー*

〇〇株式会社

製品名*

NEW-ECOライト

型番*

NEW-EL110

台数*

50

台

対象機器内訳

※1 セット型番を「設備情報」-「型番」に転記する

※2 セット型番に含む構成機器の子型番（構成機器それぞれの型番）を入力し、「本体構成機器」の□にチェックを入れる。

※3 セット型番に含まれない付帯設備がある場合は、当該機器の型番を入力する。「本体構成機器」の□にチェックは不要。

<参考> 導入設備登録 画面

■カタログ・仕様書にセット型番の記載がない場合（機器それぞれの型番で導入する場合）

<見積書から構成機器情報を転記する際の入力例>

御見積書

〇〇株式会社

<見積書明細>

品名・名称	型番	数量	単位	単価	金額
1. 設備費（補助対象内）					
灯具	直管蛍光灯用器具α	FLR400	50	台	XXXX XXXXX
光源	LED直管蛍光灯	FLR40	50	台	XXXX XXXXX
電源	電源TypeE	DA-01	50	台	XXXX XXXXX
レンズ	拡散レンズR	KL001	50	台	XXXX XXXXX
ルーバー	ルーバーPU	LV001	50	台	XXXX XXXXX
カバー・枠	プラカバー-30形	PCα	50	台	XXXX XXXXX
ガード	ガードG	SGG	50	台	XXXX XXXXX
取付具	吊り具T40	TRGX001	50	台	XXXX XXXXX
リニューアルプレート	Rプレート(大)	PRD001	50	台	XXXX XXXXX
	小計				XXXXXXXX

※1

※2

<ポータル入力画面>

設備情報

製造メーカー* 〇〇株式会社

製品名* NEW-ECOライト

型番* FLR400

台数* 50 台

対象機器内訳

No.	対象機器	製造メーカー*	製品名*	型番*	台数*	本体構成機器
1	灯具	〇〇株式会社	直管蛍光灯用器具	FLR400	50	☒
2	光源	〇〇株式会社	LED直管蛍光灯	FLR40	50	☐
3	電源	〇〇株式会社	電源TypeE	DA-01	50	☐
4	レンズ	〇〇株式会社	拡散レンズR	KL001	50	☐
5	ルーバー	〇〇株式会社	ルーバーPU	LV001	50	☐
6	カバー・枠	〇〇株式会社	プラカバー-30形	PCα	50	☐
7	ガード	〇〇株式会社	ガードG	SGG	50	☐
8	取付具	〇〇株式会社	吊り具T40	TRGX001	50	☐
9	リニューアルプレート	〇〇株式会社	Rプレート(大)	PRD001	50	☐

- ※1 灯具本体の型番を「設備情報」-「型番」に転記する。
「対象機器内訳」-「灯具」にも灯具本体の情報を入力し、「本体構成機器」の☐にチェックを入れる。
- ※2 補助対象となる全ての型番を入力する。「本体構成機器」の☐にチェックは不要。

<参考> 導入設備登録 画面

■ 型番の異なる構成機器（レンズ、ルーバー、取付具等）が複数台ある場合

構成機器の情報を以下のように入力するとともに、その内訳を記載した別紙を作成・提出して下さい。

① 導入設備登録 画面「設備情報」と「構成機器（対象機器内訳）」の登録方法

- 1.備考に、「【複数型番】」と入力してください。
- 2.構成機器ごとに番号（①,②…）を割り振り、「対象機器内訳」に以下のように入力してください。

6-3 製品名：「製品①,製品②,…」と入力する。カンマで区切って複数台分を入力する。
※具体的な製品名ではなく「製品」と入力した上で、番号（①,②…）を割り振ること。

6-4 型番：「型番①＝台数,型番②＝台数,…」と入力する。カンマで区切って複数台分を入力する。
※具体的な型番ではなく「型番」と入力した上で、番号（①,②…）を割り振ること。
※台数は実際の導入台数を入力すること。

6-5 台数：型番ごとの導入台数の合計値を入力する。

<導入設備登録 画面>

設備情報

基準条件

性能値1*
基準値2
性能値2*
備考
定格消費電力*

111lm/W

〈演色性〉 Ra70以上

Ra80

【複数型番】

36 W

その他の仕様

対象機器内訳

No.	対象機器	製造メーカー*	製品名*	型番*	台数*	本体構成機器
1	灯具	□□株式会社	直管蛍光灯用器具	FLA400	3000	☒
2	光源	□□株式会社	LED直管型ランプ	FLA40	6000	☒
3	取付具	□□株式会社	製品①製品②製品③	型番①=2000,型番②	6000	☒

② 別紙（番号対比表）の作成・提出

割り振った番号（①,②…）と具体的な製品名・型番が紐づいていることが分かるよう、別紙（自由書式）を作成し、提出して下さい。

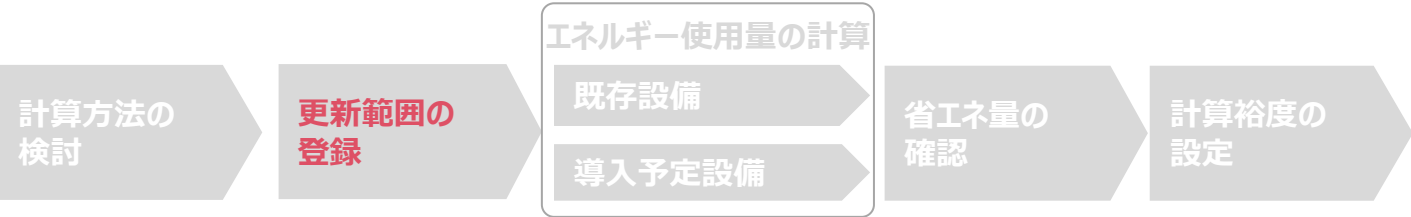
<作成例>

事業者名：株式会社〇〇〇〇
事業所名：東京営業所

2-6.導入設備一覧 No.	製品 No.	対象機器	製造メーカー	製品名	型番	台数
1-(4)	①	取付具	□□株式会社	取付具Aタイプ	TR-G50A	2000
	②	取付具	□□株式会社	取付具Bタイプ	TR-G65L	2000
	③	取付具	□□株式会社	取付具Cタイプ	TR-G20L	2000

- ※提出書類「2-6 導入設備一覧」の番号も記載すること。
- ※該当する番号（①,②…）と製品名・型番・台数等が一致するよう記載すること。
- ※「事業者名」と「事業所名」も記載すること。

高効率照明



■ 更新範囲登録画面の表示

省エネルギー効果計算を行うために、更新範囲を登録します。

省エネルギー効果計算は、補助事業者情報、導入設備情報等を登録した後で、「申請書詳細 画面」の「省エネルギー効果計算(総括)」欄から画面を開きます。計算を行う設備区分の「詳細」をクリックして「設備情報一覧」画面に進み、そこから更新範囲の登録画面に進みます。

<申請書詳細 画面>

Home

革命投資 申請書検索

革命投資 申請書作成

補助事業申請書詳細

編集

共同申請者登録

導入設備登録

見積・発注情報登録

計算裕度登録

同意確認

申請書類印刷

【仮】交付申請書～発注区分表

【仮】導入設備一覧

【仮】省エネルギー効果総括表・見積金額一覧表

画面情報

画面名

申請書詳細 画面

導入設備一覧

No.	詳細	設備区分	種別	製造メーカー	製品名	LED
1	詳細	高効率照明	その他LED照明器具	〇〇株式会社	NEW-323NK	LED

省エネルギー効果計算(総括)

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	電気	ガス	油	熱	その他	合計
1	詳細	高効率照明	ki						
2	詳細	高効率空調	ki						
3	詳細	産業ヒートポンプ	ki						
4	詳細	業務用給湯器	ki						
5	詳細	高性能ボイラ	ki						
6	詳細	炭素工業炉	ki						
7	詳細	工器							
8	詳細	冷蔵庫							

<更新範囲一覧 画面>

Home

革命投資 申請書検索

革命投資 申請書作成

補助事業申請書詳細

編集

共同申請者登録

導入設備登録

見積・発注情報登録

計算裕度登録

同意確認

申請書類印刷

【仮】交付申請書～発注区分表

【仮】導入設備一覧

【仮】省エネルギー効果総括表・見積金額一覧表

画面情報

画面名

更新範囲一覧 画面

更新範囲一覧

更新範囲追加(指定計算・簡易計算)

更新範囲追加(独自計算)

設備追加(既存)

設備追加(導入予定)

申請書詳細画面へ

申請書類印刷

【仮】エネルギー使用量計算書(設備毎)

【仮】省エネルギー効果計算書(設備毎)

画面情報

画面名

更新範囲一覧 画面

申請書情報

管理情報

申請書番号

補助事業名

事業所名称

設備区分

KT-1607069699

省エネ設備導入事業

本店

高効率照明

「申請書詳細 画面」を下部までスクロールし、計算を行う設備区分の「詳細」をクリック

「更新範囲追加(計算方法)」をクリック
※「指定計算・簡易計算」または「独自計算」のいずれかを選択

高効率照明

<更新範囲登録 画面>

画面情報

画面名

更新範囲登録 画面

申請書情報

管理情報

申請書番号

KT-16022900105

補助事業名

省エネ設備導入事業

事業所名称

〇〇事業所

設備区分

高効率照明

設備情報

計算方法

計算方法(既存/導入予定)

1

指定計算/指定計算 ▼

確定

1 の入力後「確定」をクリック
→ 更新範囲を入力する画面を表示

更新範囲情報

更新範囲

更新範囲名*

2

フロア1

稼働時間

1月*

3

200 h

2月*

200 h

3月*

200 h

4月*

200 h

5月*

200 h

6月*

200 h

7月*

200 h

8月*

200 h

9月*

200 h

10月*

200 h

11月*

200 h

12月*

200 h

2 と 3 の入力後
「保存」をクリック

戻る

保存

高効率照明

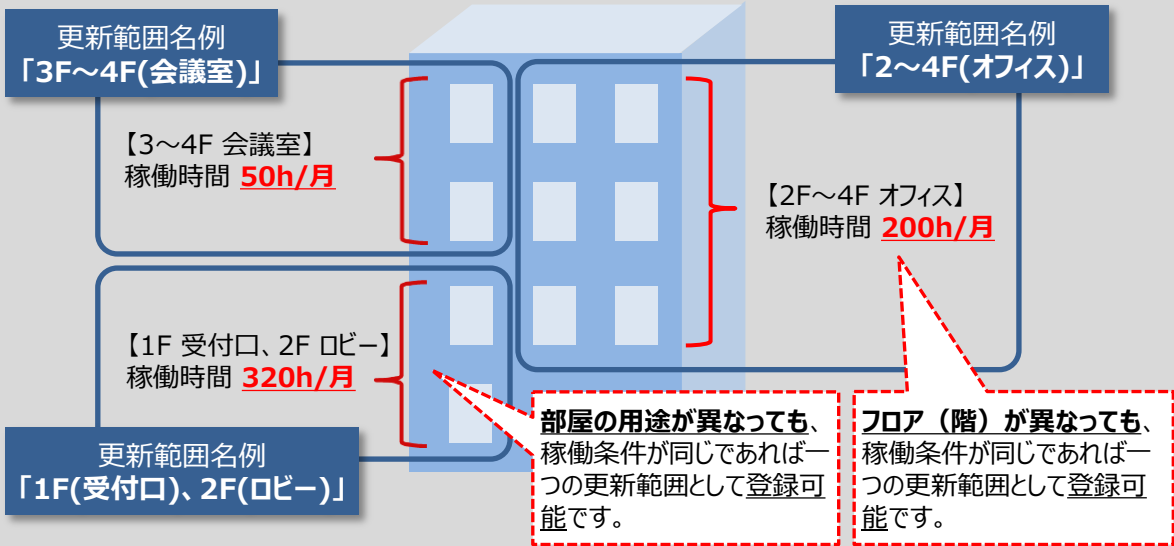
■ 更新範囲情報の登録

下表の説明を参考に、計算時に使用する統一条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	計算方法 (既存/導入予定)	プルダウン	「指定計算/指定計算」、又は「簡易計算/指定計算」から選択する。	
2	更新範囲名	手入力	更新範囲の名称を入力する。 例) フロア1、オフィスフロア、店舗フロア 等	提出書類「2-10 既存設備の撤去範囲」、及び「2-11 導入予定設備の配置図」の記載と整合性をとること。
3	稼働時間	手入力	既存設備の想定稼働時間を月別に入力する。	

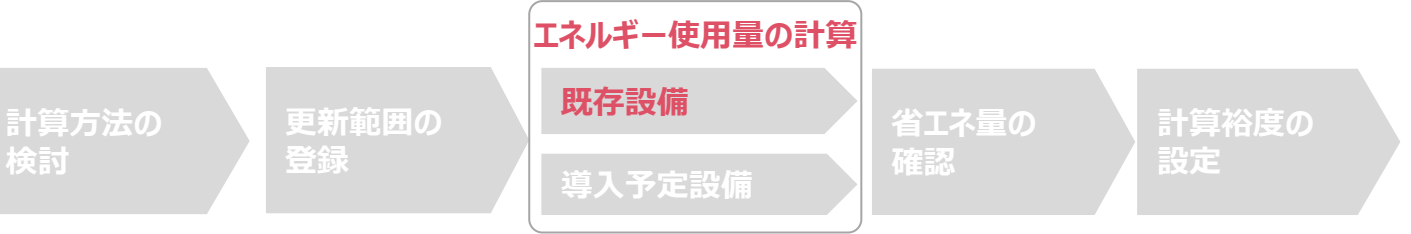
■ 更新範囲情報の登録時の注意事項

※更新範囲は、必ずフロアや部屋ごとに登録する必要はありません。
稼働条件（稼働時間）が同じであれば、同一の更新範囲を用いて既存設備と導入予定設備の登録を行ってください。



- ※ 更新範囲に登録する設備の稼働時間や導入台数が僅少にならない場合、フロアや部屋ごとに更新範囲を登録しても良い。
- ※ 更新範囲名は、どのフロア・どの部屋を範囲としたものかわかる名称にすること。
- ※ 更新範囲名は、設置場所の一致が確認できるよう、以下の提出書類にも明確に図示すること。
 - ・ 2-10 既存設備の撤去範囲
 - ・ 2-11 導入予定設備の配置図

高効率照明



■ 既存設備情報の登録（指定計算・簡易計算）

省エネルギー効果計算を行う既存設備の基本情報や稼働台数等の情報を登録します。

＜更新範囲一覧 画面＞

更新範囲追加(指定計算・簡易計算)

更新範囲追加(独自計算)

設備追加(既存)

設備追加(導入予定)

「設備追加(既存)」をクリック

↓

1 と 2 の入力後「確定」をクリック
→ 既存設備情報を入力する画面を表示

種別・計算方法

既存/導入予定

更新範囲

種別・計算方法

既存/導入予定

更新範囲

種別・計算方法

更新範囲

種別

計算方法

更新範囲

種別

計算方法

設備情報

製造メーカー

製品名

型番

台数

設置年

種類・灯数等

定格消費電力

□□株式会社

エコライト

OLD-1500WH

3000 台

1995年

FHF32形 3灯用 ・ 定格出力 又は 不明

105 W

エネルギー使用量

原油換算量計算

3 から 9 の入力後「原油換算量計算」をクリック

月	定格消費電力 (W)	月間稼働時間 (h)	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算量 (kl)
1月	105,000	200	63,000.0	16,205
2月	105,000	200	63,000.0	16,205
3月	105,000	200	63,000.0	16,205
4月	105,000	200	63,000.0	16,205
5月	105,000	200	63,000.0	16,205
6月	105,000	200	63,000.0	16,205
7月	105,000	200	63,000.0	16,205
8月	105,000	200	63,000.0	16,205
9月	105,000	200	63,000.0	16,205
10月	105,000	200	63,000.0	16,205
11月	105,000	200	63,000.0	16,205
12月	105,000	200	63,000.0	16,205
合計	-	2400	756,000.0	194,460

戻る

保存

「原油換算量計算」をクリック後、
「保存」をクリック

15

高効率照明

■ 既存設備情報の入力（指定計算・簡易計算）

下表の説明を参考に、既存設備情報を入力します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	更新範囲	プルダウン	事前に登録した更新範囲から、該当の更新範囲を選択する。	
2	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択する。	
3	製造メーカー	手入力	既存設備の灯具本体の製造メーカー名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	確認が困難な場合は空欄でも可とする。
4	製品名	手入力	既存設備の灯具本体の製品名を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	確認が困難な場合は空欄でも可とする。
5	型番	手入力	既存設備の灯具本体の製品型番を入力する。 ※英数字は半角で入力すること。	確認が困難な場合は、既存設備の種類が把握できるよう、「8」の種類・灯数」等と同じ内容を入力する。 例)「コンパクト蛍光ランプFHT24形 1灯用」等 ※この場合、既存設備の種類・灯数の一致確認ができるように「2-10既存設備の撤去範囲」にも「種類・灯数」を記載する。
6	台数	手入力	1で選択した更新範囲内の、既存設備の台数を入力する。	誤入力がないよう、「2-10既存設備の撤去範囲」と台数の一致を確認すること。
7	設置年	プルダウン	固定資産台帳に記載されている、既存設備の設置年（取得年）を選択する。	不明な場合は、設備を設置した建物が登記された年（不動産登記簿【権利部（甲区）】に記載）を記載する。
8	種類・灯数等	プルダウン	既存設備の種類・灯数、安定器種類を選択する。	指定計算の場合のみ表示されるので選択する。
9	定格消費電力	自動表示 又は手入力	・更新範囲登録時に「指定計算」を選択した場合は、2と8のプルダウンから当てはまるものを選択すると、定格消費電力が自動表示される。 ・更新範囲登録時に「簡易計算」を選択した場合は、手入力する。	※自動表示される定格消費電力の数値については巻末の「使用データ」を参照する。

※同じ更新範囲に異なるメーカーや能力の既存設備がある場合は、再度「設備追加(既存)」をクリックし、同じ手順に沿って既存設備の追加操作を行ってください。

si

中小企業等の
省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金

ホーム

革命投資 申請書検索

革命投資 申請書作成

更新範囲一覧

更新範囲追加(指定計算・簡易計算)

更新範囲追加(独自計算)

設備追加(既存)

設備追加(導入予定)

申請書詳細画面へ

「設備追加(既存)」
をクリック

16

<参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法

補助事業ポータルでは、以下の順番で情報の登録を進めていきます。「申請書情報」「導入予定設備」「更新範囲」の情報に基づき、「既存設備」と「導入予定設備」のエネルギー使用量が自動で計算されます。万が一「エネルギー使用量の計算」を行った後に、「申請書情報」「導入予定設備」「更新範囲」の更新を行った場合には、再度「エネルギー使用量の計算」を行う必要があります。※情報の登録を行う際は製品カタログや仕様書等を準備の上、間違いのない情報を入力するようにしてください。



⑤、⑥の計算をした後に、①、②又は④の情報を更新した場合、再度⑤、⑥の計算を行う必要がある。

■再計算手順

手順 1. <更新範囲一覧 画面>

更新範囲一覧									
更新範囲追加(指定計算・簡易計算) 更新範囲追加(独自計算) 設備追加(既存) 設備追加(導入予定)									
更新範囲一覧									
No.	詳細	更新範囲	要計算	設備情報	導入予定件数	省エネルギー量(原油換算量)	年間稼働時間	(内訳)冷房稼働時間	(内訳)暖房稼働時間
1	[詳細]	フロア1	○	[一覧]			2,500 h	1,100 h	1,400 h
合計									

手順 2. <設備情報一覧 画面>

設備一覧										
No.	詳細情報	要計算	製品名 型番	台数	エネルギー使用量(原油換算量)					
1	[詳細]	○	電気式パッケージエアコン エコエアコン OLD-224TMAK	1	電気	ガス	油	熱	その他	計
2	[詳細]	○	電気式パッケージエアコン エコエアコンW NEW-224TMAK	1	0.666 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.000 kl	0.666 kl

手順 3. <設備情報詳細 画面>

設備情報登録	
注意: エネルギー使用量の計算に使用する内容が更新された可能性があります。当設備情報を再度編集・保存して最新の計算結果を確認してください。	
編集	エラーメッセージを確認し、「編集」をクリック
設備情報一覧画面へ	

再計算を行う必要がある場合の例 (A)

- ・「申請書詳細 画面」で事業所の「都道府県」を変更した場合
- ・更新範囲の「稼働時間」を変更した場合 等

⇒**手順 4. (A)** へ進んでください

再計算を行う必要がある場合の例 (B)

- ・導入予定設備の情報を更新した場合
- ・申請書情報 (又は更新範囲情報) と導入予定設備の情報を更新した場合 等

⇒**手順 4. (B)** へ進んでください

<参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法

再計算を行う必要がある場合の例（A）

再計算を行う必要がある場合の例（B）

手順4.（A）<設備情報編集 画面>

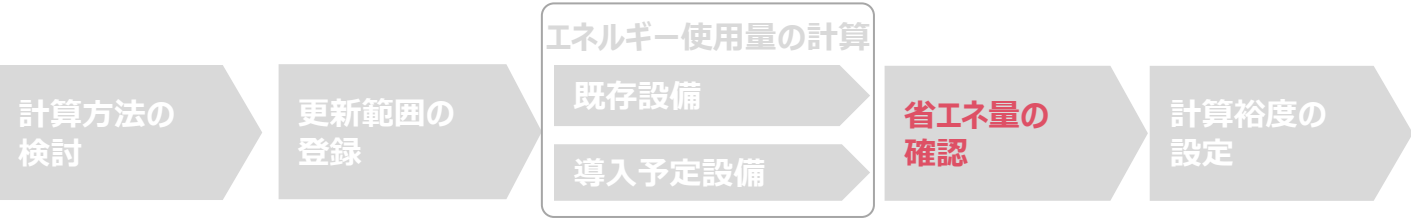
手順4.（B）<設備情報編集 画面>

※「再計算を行う必要がある場合の例（B）」の際の注意点

- 導入予定設備情報を更新した場合は、忘れずに 1、2 を行うこと。
- また、申請書情報又は更新範囲情報を更新した場合は、忘れずに 3 を行うこと。
- 申請書情報(又は更新範囲情報)と導入予定設備情報を更新した場合は、忘れずに 1 2 及び 3 を行うこと。

1 2、又は 3 を行わずに 4 を行った場合でも、「更新範囲一覧 画面」と「設備情報一覧 画面」の「要計算」欄から「○」が外れるため、そのまま提出した場合、計算が合わず不備となるため、十分注意すること。

高効率照明



登録情報の確認

「申請書詳細 画面」の「導入設備情報一覧」で、設備の計算漏れが無いかを確認してください。

<申請書詳細 画面> - <導入設備一覧>

導入設備一覧							
No.	詳細	設備区分	種別	製造メーカー	製品名	型番	台数
1	直結配	高効率空調	電気式パッケージエアコン	〇〇製作所	NEW-Z24TMAK	エコエアコンW	1

※上記画面は、電気式パッケージエアコンの例です。

事業全体での省エネルギー量の確認

計算された省エネルギー量の算出結果を確認します。
申請する補助事業の省エネルギー効果を必ず確認してください。

<申請書詳細 画面> - <省エネルギー効果計算(総括)>

省エネルギー効果計算(総括)													
No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	省エネルギー量(原油換算)						裕度	計画省エネルギー量 (原油換算)		
				電気	ガス	油	熱	その他	合計		合計	削減率	
1	直結	高効率照明	0.240kl	0.240kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.240kl		kl	0.0%	
2	直結	高効率空調	6.572kl	1.731kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	1.731kl		kl	0.0%	
3	直結	産業ヒートポン プ	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
4	直結	業務用給湯器	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
5	直結	高性能ボイラ	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
6	直結	低炭素工業炉	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
7	直結	変圧器	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
8	直結	冷凍冷蔵庫	kl	kl	kl	kl	kl	kl	kl		kl	%	
設備小計			1	6.812kl	1.971kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	2	1.971kl	-	0.000kl	0.0%
事業全体の合計				6.812kl	1.971kl	0.000kl	0.000kl	0.000kl	1.971kl	-	0.000kl	0.0%	

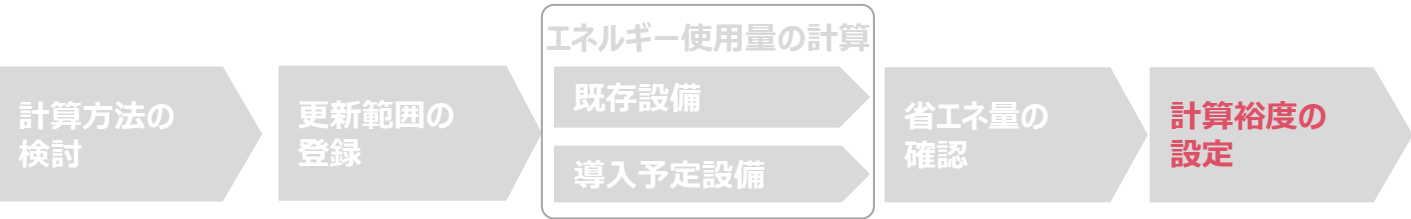
マイナスの値でも可(※)

マイナスの値は不可

裕度が加味された
合計値が表示される

※既存設備と導入予定設備で使用エネルギーが異なる場合、使用エネルギーごとの合計(1)にマイナスの値が表示
される場合がありますが、合計(2)がプラスの値であれば問題ありません。
ただし、事業全体の省エネルギー量の合計(2)が「0」またはマイナスの値となる場合は、省エネルギー効果を得られて
いないため、交付申請を行うことが出来ませんのでご注意ください。

高効率照明



■ 計算裕度設定画面の表示

計算裕度を登録します。

<申請書詳細 画面>

申請書詳細 画面

1 計算裕度登録

計算裕度登録

■ 申請書詳細

- 1 [計算裕度登録] をクリックし、「計算裕度登録 画面」を表示

<計算裕度登録 画面>

計算裕度登録 画面

2 裕度

3 保存

保存

■ 裕度選択

- 2 裕度（プルダウン）
設備区分ごとに10～20%の裕度を選択
最低でも10%の裕度設定は必須

■ 裕度登録

- 3 保存
内容を確認し、問題がなければ[保存]をクリック

登録が完了すると、「申請書詳細 画面」に戻ります。
「省エネルギー効果計算(総括)」の「計画省エネルギー量(原油換算)」欄に、裕度が加味された省エネルギー量が表示されます。

これで、すべての必要情報の登録、及び省エネルギー効果計算は完了です。

高効率照明

■「独自計算」を用いた場合の情報の登録について

「独自計算」で既存設備、導入予定設備のエネルギー使用量を算出した場合は、その結果を補助事業ポータルに登録する必要があります。
補助事業ポータルでは、入力されたエネルギー使用量を自動的に原油換算し、事業全体の省エネルギー効果を算出します。

■更新範囲の登録

「独自計算」を用いる際には、「更新範囲登録 画面」の計算方法の欄で必ず「独自計算」を選択し、確定ボタンをクリックしてください。その後、更新範囲の名称を入力のうえ、登録してください。
※「独自計算」を選択した場合は、稼働条件（稼働時間や必要熱量 等）の登録は行いません。

独自計算の詳細は、別冊「設備別 省エネルギー効果計算の手引き **独自計算（全設備区分共通）**」を参照してください。

高効率照明

■エネルギー使用量計算書サンプル（既存設備）

2－7 エネルギー使用量計算書（設備毎/既存設備）

■基本情報

計算方法	指定計算	既存/導入予定	既存設備
更新範囲	フロア 1	台数	3, 000台

■設備情報

設備情報	設備区分	高効率照明		種別	直管蛍光ランプ	
	製造メーカー	□□株式会社				
	製品名	直管蛍光灯				
	型番	OLD-1500WH 直管蛍光ランプFHF32形 3灯用 定格出力				
	設置年	1995年				
基準要件	性能区分	-				
	基準値 1	-		性能値 1	-	
	基準値 2	-		性能値 2	-	
	備考	-				
その他仕様	種類・灯数等	直管蛍光ランプFHF32形 3灯用 ・ 定格出力 又は 不明				
	定格消費電力	105W				

■原油換算使用量

電気	月	定格消費電力 (W)	稼働時間 (h)	台数 (台)	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算使用量 (kl)
	1月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	2月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	3月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	4月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	5月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	6月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	7月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	8月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	9月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	10月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	11月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	12月	105	200	3, 000	63, 000. 0	16. 205
	合計		2, 400		756, 000. 0	194. 460

原油換算使用量合計 (kl/年)	194. 460 kl
---------------------	-------------

高効率照明

■エネルギー使用量計算書サンプル（導入予定設備）

2－7 エネルギー使用量計算書（設備毎/導入予定設備）

■基本情報

計算方法	指定計算	既存/導入予定	導入予定設備
更新範囲	フロア 1	台数	3,000台

■設備情報

設備情報	設備区分	高効率照明		種別	LEDダウンライト
	製造メーカー	□□株式会社			
	製品名	LED ○○ Light セット			
	型番	NEW-323NK			
	設置年	2016年			
基準要件	性能区分	昼光色・昼白色・白色			
	基準値 1	〈固有エネルギー消費効率〉 85.01m/W		性能値 1	〈固有エネルギー消費効率〉 85.01m/W
	基準値 2	〈演色性〉 Ra70		性能値 2	〈演色性〉 Ra70
	備考	-			
その他仕様	種類・灯数等	-			
	定格消費電力	36W		全光束	3,060lm

■原油換算使用量

電気	月	定格消費電力 (W)	稼働時間 (h)	台数 (台)	エネルギー使用量 (kWh)	原油換算使用量 (kl)
	1月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	2月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	3月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	4月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	5月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	6月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	7月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	8月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	9月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	10月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	11月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	12月	36	200	3,000	21,600.0	5.556
	合計		2,400		259,200.0	66.672

原油換算使用量合計 (kl/年)	66.672 kl
---------------------	-----------

高効率照明

■ 必要添付書類

交付申請書類には、選択した計算方法に応じて下記証憑書類の添付が必要です。

No.	計算方法			必要証憑	交付申請時の提出書類名称
	指定	簡易	独自		
1	○	○	○	導入予定設備の仕様（種別、型番、定格消費電力、全光束）の根拠 例)導入予定設備の製品カタログ・仕様書 ※該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所が判るようにしてください。 ※カタログ・仕様書に、設備の仕様情報が不足している場合は、メーカー等に相談のうえ、必要情報の記載がある証憑書類を用意してください。	添付4 設備の製品カタログ/設備の仕様書
2			○	独自計算の計算過程、及び使用した値の証憑 例)計算過程説明書（計算式含む） 計算したデータの根拠資料	添付8 省エネルギー効果独自計算書

※添付する証憑書類は、原則、導入予定設備分のみですが、既存設備分についても添付を求める場合がありますので、手元に保管をお願いします。

<参考> 高効率照明用計算式と使用データ

■ 高効率照明の指定・簡易計算の計算手順と計算式

高効率照明の指定・簡易計算については下記の考えに基づき、補助事業ポータルで計算を行っています。

凡 例		
製品カタログ等から転記する値	実績又は計画に基づき入力する値	使用データや計算ロジックによって自動入力される値

1. 既存設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、既存設備の電力使用量を求める。

既存設備
定格消費電力※
[W]

 ×

想定稼働時間
[h]

 ×

既存設備
台数
[台]

 ×

単位変更
1/1,000
[W⇒kW]

 =

既存設備
消費電力量
[kWh/年]

※既存設備の定格消費電力が不明な場合は、ポータルのプルダウンで選択できる種別、種類・灯数等から定格消費電力を推定。

既存設備
消費電力量
[kWh/年]

 ×

単位変更
1/1,000
[kWh⇒千kWh]

 ×

熱量換算係数
9.97
[GJ/千kWh]

 ×

原油換算係数
0.0258
[kl/GJ]

 =

既存設備
原油換算使用量
[kl/年]

2. 導入予定設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、導入予定設備の電力使用量を求める。

導入予定設備
定格消費電力
[W]

 ×

想定稼働時間※
[h]

 ×

導入予定設備
導入予定台数
[台]

 ×

単位変更
1/1,000
[W⇒kW]

 =

導入予定設備
消費電力量
[kWh/年]

※導入予定設備の月間想定稼働時間は、既存設備の月間想定稼働時間と同じとする。

導入予定設備
消費電力量
[kWh/年]

 ×

単位変更
1/1,000
[kWh⇒千kWh]

 ×

熱量換算係数
9.97
[GJ/千kWh]

 ×

原油換算係数
0.0258
[kl/GJ]

 =

導入予定設備
原油換算使用量
[kl/年]

3. 省エネルギー量算出の計算

1.と2.の計算を既存・導入予定設備で実施し、各々の原油換算使用量を求める。
既存・導入予定設備の差分を省エネルギー量とする。

既存設備
原油換算使用量
[kl/年]

 −

導入予定設備
原油換算使用量
[kl/年]

 =

省エネルギー量
[kl/年]

<参考> 高効率照明用計算式と使用データ

■ 使用データ1

指定計算で使用される「定格消費電力」のデータは下表の通りです。

種別	種類・灯数等	定格消費電力
直管蛍光ランプ	直管蛍光ランプFHF16形 1灯用 ・ 高出力	26
	直管蛍光ランプFHF16形 2灯用 ・ 高出力	50
	直管蛍光ランプFHF32形 1灯用 ・ 高出力	48
	直管蛍光ランプFHF32形 1灯用 ・ 定格出力 又は 不明	35
	直管蛍光ランプFHF32形 2灯用 ・ 高出力	95
	直管蛍光ランプFHF32形 2灯用 ・ 定格出力 又は 不明	70
	直管蛍光ランプFHF32形 3灯用 ・ 高出力	143
	直管蛍光ランプFHF32形 3灯用 ・ 定格出力 又は 不明	105
	直管蛍光ランプFHF32形 4灯用 ・ 高出力	190
	直管蛍光ランプFHF32形 4灯用 ・ 定格出力 又は 不明	140
	直管蛍光ランプFHF32形 5灯用 ・ 高出力	238
	直管蛍光ランプFHF32形 5灯用 ・ 定格出力 又は 不明	175
	直管蛍光ランプFHF32形 6灯用 ・ 高出力	285
	直管蛍光ランプFHF32形 6灯用 ・ 定格出力 又は 不明	210
	直管蛍光ランプFHF63形 1灯用	64
	直管蛍光ランプFHF63形 2灯用	125
	直管蛍光ランプFHF86形 1灯用	87
	直管蛍光ランプFHF86形 2灯用	172
	直管蛍光ランプFHF86形 3灯用	259
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 1灯用	21
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 2灯用	41
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 3灯用	62
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 4灯用	82
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 5灯用	103
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 6灯用	123
	直管蛍光ランプFL40形 1灯用 ・ 磁気式安定器	42
	直管蛍光ランプFL40形 2灯用 ・ 磁気式安定器	83
	直管蛍光ランプFL40形 3灯用 ・ 磁気式安定器	125
	直管蛍光ランプFL40形 4灯用 ・ 磁気式安定器	166
	直管蛍光ランプFL40形 5灯用 ・ 磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFL40形 6灯用 ・ 磁気式安定器	249
	直管蛍光ランプFLR40形 1灯用 ・ 磁気式安定器	41
	直管蛍光ランプFLR40形 2灯用 ・ 磁気式安定器	78
	直管蛍光ランプFLR40形 3灯用 ・ 磁気式安定器	119
	直管蛍光ランプFLR40形 4灯用 ・ 磁気式安定器	156
	直管蛍光ランプFLR40形 5灯用 ・ 磁気式安定器	197
	直管蛍光ランプFLR40形 6灯用 ・ 磁気式安定器	234
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用 ・ 磁気式安定器	108
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用 ・ 電子安定器	94
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用 ・ 磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用 ・ 電子安定器	187
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用 ・ 磁気式安定器	316
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用 ・ 電子安定器	281
環形蛍光ランプ	環形蛍光ランプFCL20形 1灯用	22
	環形蛍光ランプFCL30形 1灯用	31
	環形蛍光ランプFCL32形 1灯用	36
	環形蛍光ランプFCL40形 1灯用	47
コンパクト蛍光ランプ	コンパクト蛍光ランプFDL13形 1灯用	15
	コンパクト蛍光ランプFDL18形 1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFDL27形 1灯用	25
	コンパクト蛍光ランプFPL13・FML13形 1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFPL18・FML18形 1灯用	22
	コンパクト蛍光ランプFPL27形・FML27形 1灯用	24
	コンパクト蛍光ランプFPL36形・FML36形 1灯用	36
	コンパクト蛍光ランプFPL36形・FML36形 2灯用	70
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 3灯用	106
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 4灯用	140
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 3灯用	159
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 4灯用	210
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 1灯用	26
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 2灯用	49
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 省電力	93
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 定格出力 又は 不明	105
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 省電力	124
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 定格出力 又は 不明	138
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 3灯用	141
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 4灯用	188
	コンパクト蛍光ランプFHP105形 1灯用	92
	コンパクト蛍光ランプFHP105形 2灯用	218

<参考> 高効率照明用計算式と使用データ

■使用データ2

種別	種類・灯数等	定格消費電力
コンパクト蛍光灯ランプ	コンパクト蛍光灯ランプFHT16形 1灯用	19
	コンパクト蛍光灯ランプFHT24形 1灯用	27
	コンパクト蛍光灯ランプFHT24形 2灯用	53
	コンパクト蛍光灯ランプFHT24形 3灯用	80
	コンパクト蛍光灯ランプFHT24形 4灯用	106
	コンパクト蛍光灯ランプFHT32形 1灯用	35
	コンパクト蛍光灯ランプFHT32形 2灯用	70
	コンパクト蛍光灯ランプFHT32形 3灯用	105
	コンパクト蛍光灯ランプFHT32形 4灯用	140
	コンパクト蛍光灯ランプFHT42形 1灯用	45
	コンパクト蛍光灯ランプFHT42形 2灯用	90
	コンパクト蛍光灯ランプFHT42形 3灯用	135
	コンパクト蛍光灯ランプFHT42形 4灯用	180
	コンパクト蛍光灯ランプFHT57形 1灯用	65
	コンパクト蛍光灯ランプFHT57形 2灯用	144
	コンパクト蛍光灯ランプFHT57形 3灯用	209
HIDランプ	コンパクト蛍光灯ランプFHT57形 4灯用	288
	HIDランプ高圧水銀ランプ 40形	52
	HIDランプ高圧水銀ランプ 80形	97
	HIDランプ高圧水銀ランプ 100形	115
	HIDランプ高圧水銀ランプ 200形	213
	HIDランプ高圧水銀ランプ 250形	260
	HIDランプ高圧水銀ランプ 300形	310
	HIDランプ高圧水銀ランプ 400形	415
	HIDランプ高圧水銀ランプ 700形	730
	HIDランプ高圧水銀ランプ 1000形	1030
	HIDランプメタルハライドランプ 100形	114
	HIDランプメタルハライドランプ 200形	215
	HIDランプメタルハライドランプ 250形	260
	HIDランプメタルハライドランプ 300形	310
	HIDランプメタルハライドランプ 400形	415
	HIDランプメタルハライドランプ 700形	730
	HIDランプメタルハライドランプ 1000形	1030
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 35形	46
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 70形	86
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 磁気式安定器	165
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 電子安定器	169
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 180形	205
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 190形	210
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 220形	240
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 230形	250
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 270形	292
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 290形	307
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 360形	390
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 100形	110
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 40形	52
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 75形	94
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 110形	125
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 180形	198
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 220形	238
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 270形	288
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 360形	384
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 660形	700
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 940形	990
電球形蛍光灯ランプ	電球形蛍光灯ランプEFA10・EFD10形	7
	電球形蛍光灯ランプEFA15・EFD15形	10
	電球形蛍光灯ランプEFA25・EFD25形	20
クリプトン電球	クリプトン電球40形	36
	クリプトン電球60形	54
	クリプトン電球100形	90
白熱電球	白熱電球40形	36
	白熱電球60形	54
	白熱電球100形	90
ハロゲン電球_JD110V	ハロゲン電球_JD110V60W	55
	ハロゲン電球_JD110V65W	65
	ハロゲン電球_JD110V85W	85
	ハロゲン電球_JD110V90W	90
	ハロゲン電球_JD110V130W	130
	ハロゲン電球_JD110V200W	200
	ハロゲン電球_JD110V250W	250
	ハロゲン電球_JD110V500W	500